

この赤字はP Lですが、当然にB Sにも反映しますので、債務超過に陥る中小企業もあるでしょう。そうすると将来の地域金融機関からの融資はどうなるのでしょうか。

この目利き力も、地域金融機関にとっても求められることです。

もし、債務超過が気になり融資に積極的になれないのなら、日本政策金融公庫の資本性ローンの活用を検討したいと思います。

この制度での債務は、金融検査上自己資本と見なすことができ、法的倒産手続きの開始決定が裁判所によってなされた場合、すべての債務（償還順位が同等以下とされているものを除く）に劣後します。

このような対策を早めに行い資産超過にするのです。

更に今後のことですが、もともと業績が良かった中小企業も売り上げ減少により、経営が苦しくなってくるでしょう。

その準備として、全体の元金返済額を減少させるための借り方の見直しも必要となります。もし、所要運転資金を証書貸付にて借りているならば、短コロなどに変更して利払いのみにすべきです。

更に、地域金融機関はセーフティーネット保証など一時的な資金繰り支援だけではなく、しっかりと中小企業との対話を日常行い、融資後のモニタリングを行うことが大切です。

そして、感染終息後には、改めて事業計画を策定し経営改善を図る必要があります。その際は、単なる数字が並んだ計画ではなく、ビジネスモデル自体を見直す計画でなければなりません。

これからも新型コロナウイルスのような予期せぬ何かが起こるのだと思うことで、リスクを回避していきます。その際、売上高が1カ月なかったとしても、当社は存続できる企業なのかを真剣に考えることです。

これまで弊社は、経営革新等支援機構として多くの中小企業の経営支援に携わってきました。また、地域金融機関との連携数も年々増加し、三位一体となって地域経済を支えてきました。

国難の今だからこそ、お互いの垣根を越えて知恵を出し合い、希望を持ってこの難局に立ち向かう時であると私は思っています。

○無料電話相談のご案内

新型コロナウイルス対策融資・保証制度についての無料電話相談を行っております。

お気軽にお問い合わせください。

(株)エクステンド（東京・名古屋・大阪・福岡）

経済産業大臣認定 経営革新等支援機関

【問い合わせ】

フリーダイヤル 0120-316-071

担 当：野 上